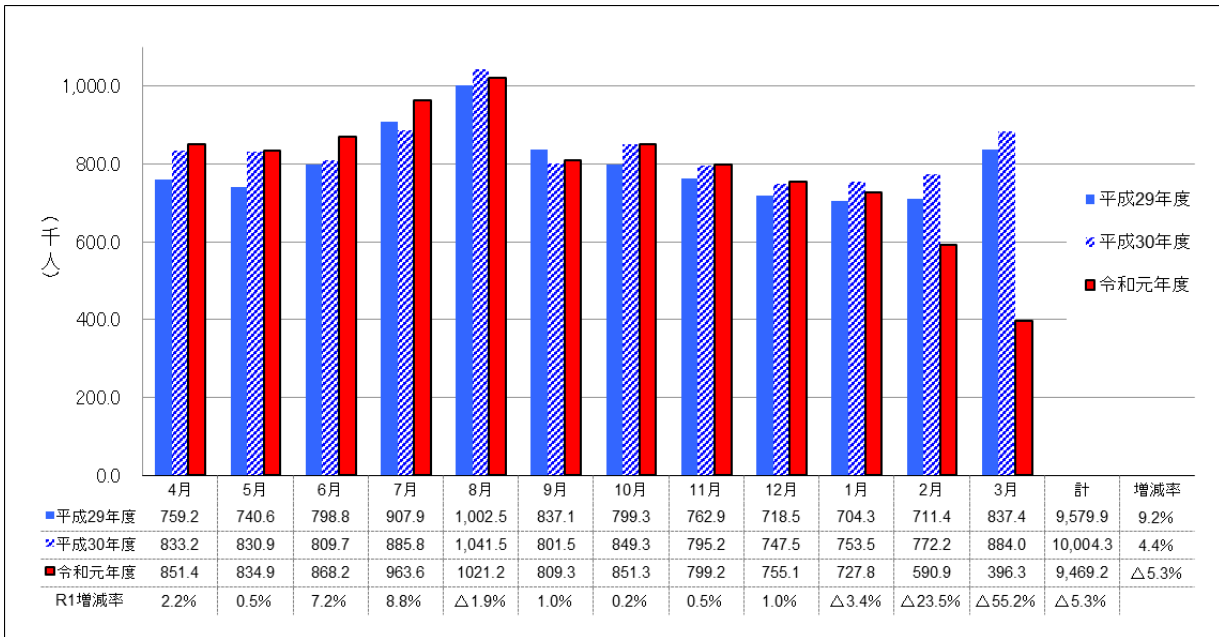


# 令和元年度 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課  
令和2年4月発表

**令和元年度の観光客数は、946万9,200人**  
 対前年度（H30）比 -53万5,100人、-5.3%  
 ～年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少～

## ■月別入域観光客数の推移（平成29年度～令和元年度）



## ■令和元年度の概況（総括）

令和元年度の入域観光客数は946万9,200人で、前年度比で53万5,100人、率にして5.3%の減少となった。年度の観光客数としては、東日本大震災の影響を受けた平成23年度以来8年度ぶりの減少となり、平成30年度に超えた1,000万人を下回ることとなった。

平成30年度と比べて減少した要因は、次の通りと考えられる。

- 年度後半における新型コロナウイルス感染症の影響に伴う海外航空路線の減便やクルーズ船寄港回数の減による外国客の減少
- 日韓情勢の悪化による訪日旅行自粛に伴う韓国客の減少
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う離島直行便など国内航空路線の減便や利用率の低下による国内客の減少

## ■令和2年度の見通し

国内客については、新型コロナウイルス感染症の影響による国の緊急事態宣言に伴う不要不急の帰省や旅行等の都道府県をまたいだ移動の自粛要請に加え、沖縄県による緊急事態宣言の間の来県自粛呼びかけ等から、少なくともゴールデンウィーク迄の国内旅行市場は厳しい状況が見込まれる。

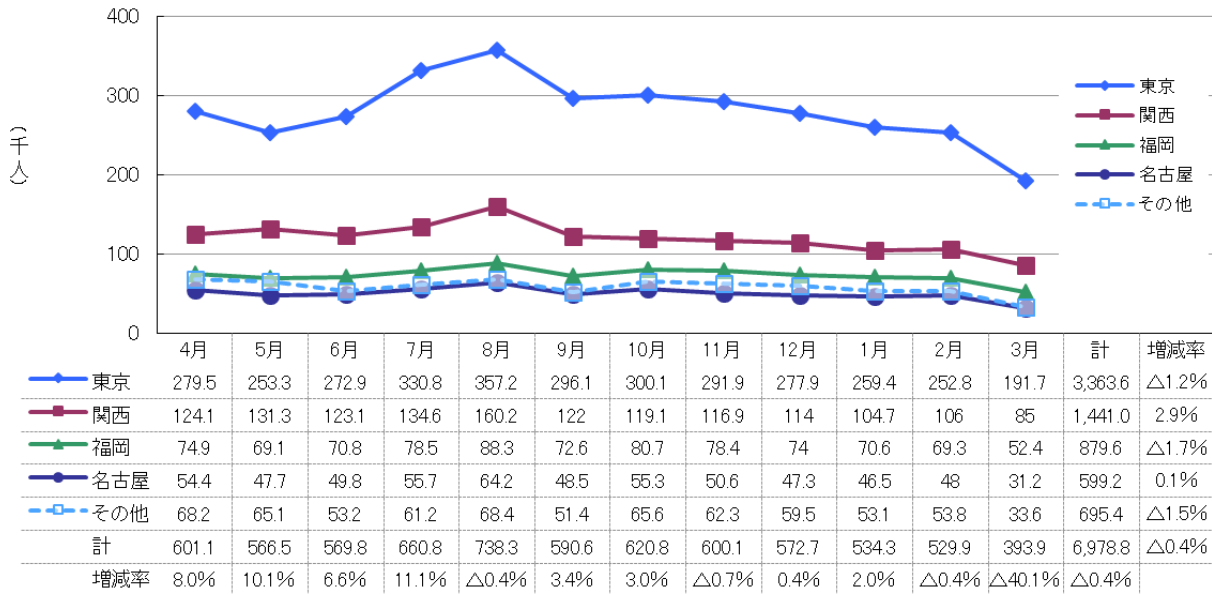
また、外国客についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、台湾、中国、韓国等に滞在歴のある外国人に対して、日本への上陸制限の措置が取られていること等から、少なくとも年度当初においては厳しい状況が見込まれる。

## 国内観光客の動向

### ■入域観光客数（国内）

令和元年度の国内客は、対前年度比で2万4,700人、率にして0.4%減の697万8,800人となり、平成23年度以来の減少となった。これまでの年度における国内客の過去最高の入込は、平成30年度の700万3,500人である。

### ■令和元年度国内観光客の状況（方面別の月別推移）



### ■国内観光客の概況

令和元年度は、景気回復基調が継続したことで国内旅行需要は好調に推移していたが、年度後半における新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛等から、国内旅行需要が低下し平成30年度をやや下回った。

#### 【方面別の動向】

##### 東京方面

成田ー下地島（宮古）路線の新規就航に加え、既存路線の提供座先数の増加があったものの、年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛の動きがあったこと等から、平成30年度を下回った。

##### 関西方面

年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛の動きがあったものの、関西ー下地島（宮古）路線の新規就航に加えて、既存路線の提供座席数の増加があったこと等から、平成30年度を上回った。

##### 福岡方面

福岡から宮古・石垣への直行便及び北九州ー那覇路線の提供座席数の増加などの航空路線の拡充があったものの、年度後半は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛の動きがあったこと等から、平成30年度を下回った。

##### 名古屋方面

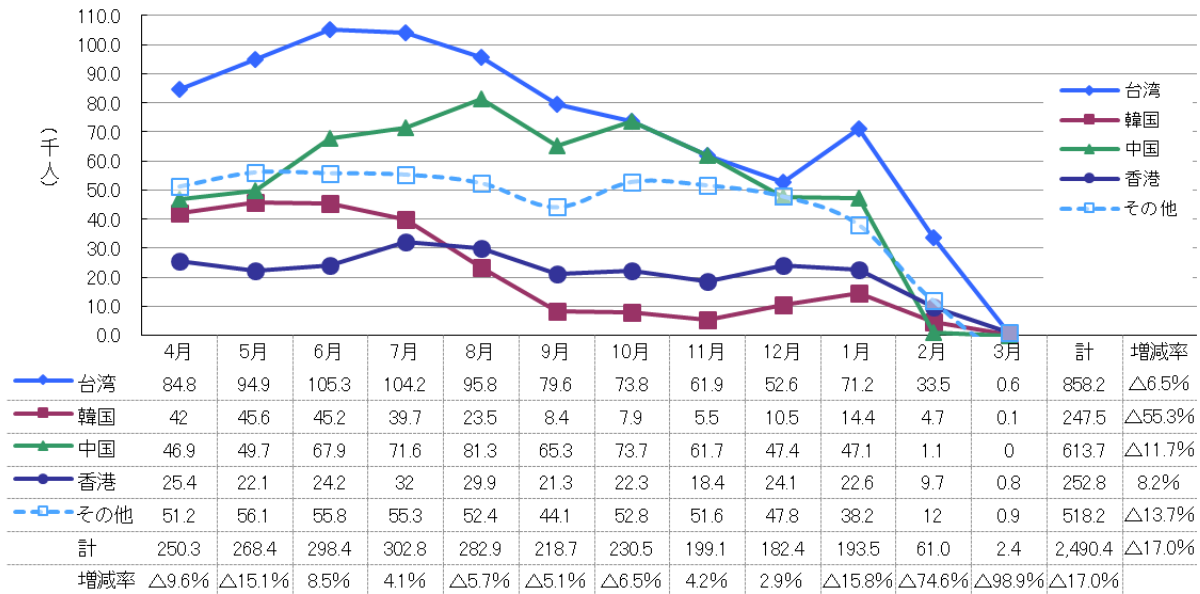
名古屋から宮古への直行便及び名古屋ー那覇路線の増便等の航空路線の拡充があったものの、年度後半は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛の動きがあったこと等から、平成30年度並みの推移となった。

## 外国人観光客の動向

### ■入域観光客数（外国）

令和元年度の外国客は、対前年度比で51万400人、率にして17%の減の249万400人となり、クルーズ船の運休により減少した平成18年度以来の減少となった。これまでの年度における外国客の過去最高の入込は、平成30年度の300万800人である。

### ■令和元年度外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



### ■外国人観光客の概況

令和元年度は、香港市場の航空路線の拡充等があったものの、日韓情勢の悪化、新型コロナウイルスの影響による訪日旅行自粛や入国制限のため、航空路線の減便やクルーズ船の寄港回数が減少したこと等により、前年を下回った。

#### 【市場別の動向】

**台湾** 航空路線の拡充等に加え、クルーズ船の寄港回数も前年並みを推移していたが、年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛があったことから、平成30年度に超えた90万人台を下回った。

**韓国** 日韓情勢の悪化や年度後半の新型コロナウイルス感染症の影響により、空路客を中心に減少し、過去最高であった平成30年度を下回り、平成25年度以来の20万人台となった。

**中国本土** 新型コロナウイルス感染症の影響により、航空路線や中国発クルーズ船の寄港回数が減になったこと等から、平成30年度を下回った。

**香港** 年度後半に、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、航空路線の拡充に加え、香港発クルーズ船の寄港回数増により、好調に推移したため、空路・海路客ともに増加し、前年度を上回り、過去2番目の観光客数となった。 ※過去最高は、平成29年度の25万9,700人